12. ２０２７年度日本数学会賞建部賢弘賞の推薦募集

下記の要領で 2027 年度（第 32 回）建部賢弘賞の推薦募集を行います．2025 年度から建部賢弘特別賞は数理科学振興会との共同事業となりました．

１．賞について

(1)趣旨

この賞は，若くして優秀な業績を挙げる等，数学研究の活性化に寄与している日本数学会会員を顕彰し，その研究を奨励することを目的とする．

(2)種類

日本数学会賞建部賢弘特別賞（以下特別賞という）及び日本数学会賞建部賢弘奨励賞（以下奨励賞という）の２種類を設ける．

(3)対象

「特別賞」：特に優秀な業績を挙げた若い数学者に対し，その業績を顕彰する目的でこれを授与する．

「奨励賞」：極めて若くして優れた業績を挙げる等，数学研究の活性化に寄与した数学者に対し，その研究を奨励する目的でこれを授与する．

(4)件数

受賞者は，特別賞については年 4 名程度，奨励賞については年 5 名程度とする．

(5)選考

選考は日本数学会賞受賞候補者選考委員会（以下選考委員会という）が行い，理事長に答申する．

(6)推薦

特別賞は日本数学会会員による他薦，奨励賞は自薦および会員による他薦を受け付ける.また，受賞候補推薦委員による推薦を受け付ける（詳細は下記「推薦の資格等」を確認のこと）．ただし選考委員会委員は推薦を行うことが出来ない．

(7)決定

理事長は選考委員会から答申された受賞候補者について理事会に諮り，受賞者を決定する．

(8)授賞

授賞に際しては賞状を授与する．また，特別賞の受賞者には副賞 10 万円を授与する．

２．推薦の資格等

(1)特別賞：会員は，自分以外の 35 歳以下の会員を特別賞に推薦することができます．

(2)奨励賞：会員は自分以外の 30 歳以下の会員を奨励賞に推薦することができます．また，30 歳以下の会員は奨励賞に自ら応募することができます．

(3)種々の困難な状況のもとで数学の研究を続け，日本数学会の活性化に寄与した会員も建部賞の対象とします．受賞候補推薦委員は，このような会員を特別賞・奨励賞に推薦することができます．被推薦者の年齢制限はありません．お近くに該当する会員がいらっしゃいましたら，受賞候補推薦委員と連絡をお取り下さい．各分科会の受賞候補推薦委員は下記のとおりです．

（2026 年度分科会受賞候補推薦委員）

数学基礎論および歴史：倉田俊彦
代数学：小林真一
幾何学：本多宣博
函数論：須川敏幸
函数方程式論：片山聡一郎
実函数論：貞末岳
函数解析学：伊藤健一
統計数学：柿沢佳秀
応用数学：木村正人
トポロジー：佐藤進

(4)会員資格：受賞者は，授賞時（授賞式の開催日）に会員であることとします．

(5)年齢の基準日：各賞の年齢資格は，授賞年度の 4 月 1 日現在の年齢とします．

(6)重複推薦：特別賞及び奨励賞両方への重複推薦を可能とします．また，日本学術振興会育志賞への同時推薦も可能とします．（育志賞については，次の項目 13 をご覧ください．）

３，推薦書類及び提出期限等

(1)推薦書類

次の①②を提出してください．

①日本数学会賞建部賢弘賞推薦票
（日本学術振興会育志賞推薦票共通様式）

②主要論文１編の別刷（PDF ファイル）

(2)推薦票（上記①）について

推薦票の様式は，数学会ホームページからダウンロードしてください．
https://www.mathsoc.jp/activity/awards/takebe/
推薦票は，Word，リッチテキストファイル，及び TeX（UTF8, Shift_JIS）のいずれかの様式を使用してください．
(3)提出先及び提出期限
宛先：日本数学会賞受賞候補者選考委員会
メールアドレス：msjprize(at)mathsoc.jp
※(at)は@に換えて送信してください．
期限：2027 年 5 月 7 日（金）12：00（期限厳守）
※提出後の推薦書類の差し替えは認められませんので提出前に十分確認してください．
４．授賞式
2027 年度（第 32 回）建部賢弘賞の授賞式は，2027 年度秋季総合分科会（信州大学）の第 2 日目（2027 年 9 月 18 日）に行う予定です．